

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01施設改築費

事務事業番号 01010113

事業名		水産棟整備事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課	
根拠法令						
令和3年度決算額		37,125	千円	項目評価		総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円			
	地方債		千円			
	その他		千円			
	一般財源	37,125	千円			
事業費（総計）		37,829	千円			
決算額		37,125	千円			
人件費		704	千円			
事業の目的		水産棟の老朽化に伴い、施設整備を行います。整備計画を作成しており、各年度の計画に沿って施工します。				
事業の内容		<p>1 老朽化した冷却設備（3台）を更新しました。</p> <p>2 損耗が著しい鮮魚売場床について、工期が短く、強固な床材に改修を行いました。</p> <p>3 既存のオーバースライダーの外側にセンサー付きシートシャッターを取り付けました。 （平成28年度、30年度、令和2年度に続き4基目）</p>		 【冷却設備更新】 【売場床改修】 【シートシャッター設置】		
SDGs17の目標		 				
実施結果（活動指標）		指標名	単位	R3年度	R2年度	R1年度
		冷却設備更新	千円	18,480	-	-
		売場床改修	千円	14,850	14,806	-
		シートシャッター設置	千円	3,795	3,850	-
項目評価		高→低		評価の理由		
		4	3	2	1	
有効性		●				事業実施により、水産物の衛生管理の向上が図られたため、「4」としました。
効率性			●			シートシャッターの設置により、飛翔性昆虫類などの侵入対策や作業効率の向上が図られたため、「3」としました。
公平性			●			事業実施において、市場関係者の意見を聴きながら実施し、理解を得たため、「3」としました。
将来性			●			本事業について、継続した事業実施により水産物の衛生管理を高めることができることから、「3」としました。
総合評価		A		建物を使用しながらの工事のため、工期や素材などに制限があったが、関係者の協力を得ながら、予算の範囲内で可能な限り要望に応えた工事を実施することが出来ました。今後も整備計画に沿って事業を進めてまいります。		
特記事項						

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 01施設改築費外

事務事業番号 01010114

事業名		青果棟整備事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課						
根拠法令											
令和3年度決算額		20,680	千円	項目評価		総合評価 A					
財源内訳	国道支出金		千円								
	地方債		千円								
	その他		千円								
	一般財源	20,680	千円								
事業費（総計）		21,384	千円								
決算額		20,680	千円								
人件費		704	千円								
事業の目的		青果棟の老朽化に伴い、施設整備を行います。整備計画を作成しており、各年度の計画に沿って施工します。									
事業の内容 SDGs17の目標		<p>1 老朽化している冷却設備（冷却塔1台）について更新を行いました。</p> <p>2 損耗が著しい青果売場床について、工期が短く、強固な床材に改修を行いました。</p>		 【冷却設備更新】 【売場床改修】							
実施結果 (活動指標)		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度			
		冷却設備更新			千円	5,830	9,240	10,670			
		売場床改修			千円	14,850	-	-			
項目評価		高→低				評価の理由					
		4	3	2	1						
有効性		●							事業実施により、青果物の衛生管理の向上が図られたため、「4」としました。		
効率性			●						冷却設備（冷却塔1台）の更新により、設備の稼働効率の向上が図られたため、「3」としました。		
公平性			●						事業実施において、市場関係者の意見を聴きながら実施し、理解を得たため、「3」としました。		
将来性			●			本事業について、継続した事業実施により青果物の衛生管理を高めることができることから、「3」としました。					
総合評価		A				建物を使用しながらの工事のため、工期や素材などに制限があったが、関係者の協力を得ながら、予算の範囲内で可能な限り要望に応えた工事を実施することが出来ました。今後も整備計画に沿って事業を進めてまいります。					
特記事項											

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 01資本的支出

項 01建設改良費

目 02固定資産取得費外

事務事業番号 01010215

事業名		花卉棟整備事業		担当部署	産業経済部 農業水産振興課			
根拠法令								
令和3年度決算額		10,135	千円	項目評価				総合評価 A
財源内訳	国道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源	10,135	千円					
事業費（総計）		10,839	千円					
決算額		10,135	千円					
人件費		704	千円					
事業の目的		花卉棟の長寿命化を図るため、施設整備を行います。整備計画に沿って施工します。						
事業の内容		<p>1 老朽化した冷却設備（1台）について更新を行いました。</p>  <p>【冷却設備更新】</p> <p>2 老朽化した暖房機（1階5台、2階4台）について更新を行いました。</p>  <p>【暖房機更新】</p>  <p>【除湿機】</p> <p>3 花卉物の品質保持の向上のため、除湿機（2台）を購入しました。</p>						
SDGs17の目標		 						
実施結果（活動指標）		指標名			単位	R3年度	R2年度	R1年度
		冷却設備更新			千円	7,315	-	-
		暖房機更新			千円	2,035	-	-
		除湿機購入			千円	785	-	-
項目評価		高→低				評価の理由		
		4	3	2	1			
有効性		●				事業実施により、花卉物の品質保持の向上が図られたため、「4」としました。		
効率性			●			冷却設備、暖房機の更新により、設備の稼働効率の向上が図られたため、「3」としました。		
公平性			●			事業実施において、市場関係者の意見を聴きながら実施し、理解を得たため、「3」としました。		
将来性					●	令和4年度に花き部の民間移譲を予定しており、事業の終了を予定していることから、「1」としました。		
総合評価		A				建物を使用しながらの工事のため、工期などに制限があったが、関係者の協力を得ながら、予算の範囲内で可能な限り要望に応えた工事を実施することが出来ました。令和4年度に花き部の民間移譲を予定していることから、事業を終了する予定であります。		
特記事項								